



平成26年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月12日

上場取引所 東 名

上場会社名 ジャパンベストレスキューシステム株式会社

コード番号 2453 URL <http://www.jbr.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役

(氏名) 榊原 暢宏

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長

(氏名) 鈴木 良夫

TEL 052-883-0850

四半期報告書提出予定日 平成26年8月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年9月期第3四半期の連結業績(平成25年10月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年9月期第3四半期	8,940	23.3	285	△37.8	131	△70.5	△47	—
25年9月期第3四半期	7,251	30.9	459	△11.3	444	△7.6	233	△4.8

(注) 包括利益 26年9月期第3四半期 △105百万円 (—%) 25年9月期第3四半期 202百万円 (△20.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年9月期第3四半期	△1.43	—
25年9月期第3四半期	7.80	7.79

(注) 当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき5株、平成26年4月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年9月期第3四半期	14,466	5,511	37.0	156.07
25年9月期	11,767	1,968	15.6	64.03

(参考) 自己資本 26年9月期第3四半期 5,351百万円 25年9月期 1,834百万円

(注) 当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき5株、平成26年4月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。1株当たり純資産は、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年9月期	—	500.00	—	1,000.00	1,500.00
26年9月期	—	0.00	—	—	—
26年9月期(予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき5株、平成26年4月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。平成25年9月期については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。平成26年9月期(予想)については当該株式分割後の配当予定額を記載しております。

3. 平成26年9月期の連結業績予想(平成25年10月1日～平成26年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,157	7.2	333	75.9	205	44.7	△100	—	△3.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(注)詳細は、添付資料P.4「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年9月期3Q	34,628,000 株	25年9月期	34,501,500 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

26年9月期3Q	340,579 株	25年9月期	5,857,000 株
----------	-----------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年9月期3Q	32,959,869 株	25年9月期3Q	29,896,000 株
----------	--------------	----------	--------------

(注)当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき5株、平成26年4月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、政府の経済政策及び日銀の金融政策による円安や株価上昇に支えられ、輸出環境の改善等による緩やかな景気回復傾向がみられました。しかしながら、平成26年4月1日の消費税増税前の駆け込み需要とともに増税後の反動減もみられ、東欧の不安定な情勢や原油の高騰に伴う物価上昇等も加わり、先行きが不透明なままで推移いたしました。

このような状況の下、当社グループは「困っている人を助ける」という経営理念に基づき、既存事業の強化と新たな成長基盤の確立に取り組んでまいりました。

当第3四半期連結累計期間における売上高は、8,940,069千円（前年同期比23.3%増）、営業利益は285,867千円（前年同期比37.8%減）となりましたが、持分法による投資損失162,273千円の計上により、経常利益は131,202千円（前年同期比70.5%減）となりました。投資有価証券売却益が287,742千円あったものの、当社連結子会社の行った不適切な売上計上の調査に係る過年度決算訂正関連費用93,916千円や、法人税等390,719千円の計上により、四半期純損失は47,025千円（前年同期は四半期純利益233,120千円）となりました。

当第3四半期連結累計期間における作業件数はガラス関連サービス14千件、水まわり関連サービス33千件、カギの交換関連サービス44千件、パソコン関連サービス13千件です。

なお、当社は、平成26年6月16日付け「過年度に係る有価証券報告書等の訂正報告書の提出及び過年度に係る決算短信等（訂正版）の公表について」でお知らせしましたとおり、当社連結子会社による不適切な売上計上処理が判明し、遡及処理を行いました。本件につきましては、株主及び取引先をはじめ関係者の皆様には多大なご迷惑とご心配をお掛けいたしましたことを、改めて深くお詫び申し上げます。

各セグメントの業績は、次のとおりであります。

① コールセンター事業

コールセンター事業におきましては、カギ部門等ではWeb広告からの作業件数は伸びているものの、タウンページによる集客減をカバーしきれず、苦戦を強いられましたが、消費税増税前の駆け込み需要に引き続きリフォームや害虫駆除が好調に推移したことにより、コールセンター事業全体の売上高は順調に推移しました。

当第3四半期連結累計期間におけるコールセンター事業は、カギ部門の売上高が307,920千円（前年同期比0.9%減）、パソコン部門の売上高が59,259千円（前年同期比4.0%減）、リフォーム部門の売上高が43,541千円（前年同期比42.9%増）となっております。

この結果、コールセンター事業全体の売上高は、481,940千円（前年同期比5.0%増）、営業利益は107,450千円（前年同期比8.3%増）となりました。

② 会員事業

会員事業におきましては、提携企業の賃貸及び分譲住宅入居者向け「安心入居サポート」会員、「ライフサポートパック」「BBお掃除&レスキュー」等「ライフデポ」各種会員、全国大学生生活協同組合連合会の「学生生活110番」及び家電・住宅設備機器のメーカー保証期間終了後をサポートする「あんしん修理サポート」会員の販売が拡大し、いずれも入会会員を順調に伸張しております。

また、平成25年12月に新たに会員事業に加わったインターネット取次事業の「ネット110番」も順調に推移しております。

当第3四半期連結累計期間における会員事業は、「安心入居サポート」会員の売上高が2,049,188千円（前年同期比18.1%増）、「ライフデポ」各種会員の売上高が394,872千円（前年同期比6.4%増）、「学生生活110番」会員の売上高が178,295千円（前年同期比29.4%増）、「あんしん修理サポート」会員の売上高が110,914千円（前年同期比67.5%増）及び「ネット110番」の売上高が206,273千円となりました。

この結果、会員事業全体の売上高は、3,038,309千円（前年同期比26.7%増）となり、各種会員の売上高の増加が大きく貢献したものの、会員増加に伴う出勤費等の増加の影響により、営業利益は626,404千円（前年同期比3.4%減）となりました。

また、生活会員の有効会員数は1,627千人（入会・更新・継続を含む）となりました。

③ 企業提携事業

水の救急車事業におきましては、消費税増税前の駆け込み需要も手伝ってトイレ等のリフォームが増加し、水まわりの緊急駆けつけサービスについても作業が増加したことにより、順調に推移しました。

旭硝子ガラスの救急車事業におきましては、ガラスの緊急割れ換えが低調であったものの、消費税増税前の駆け込み需要による窓関連リフォームや夏に向けての網戸の張り替え等の増加により、ほぼ前年同期並みの業績となっております。

コールセンター受託事業では、顧客企業のコールセンターと作業出動をワンストップで提供しております。

コールセンター受託企業数は引き続き順調に増加し222社（前年同期受託企業数200社）となり、売上高も受託企業数を反映して順調に推移しております。

当第3四半期連結累計期間における企業提携事業は、水の救急車事業の売上高が1,360,313千円（前年同期比9.4%増）、旭硝子ガラスの救急車事業の売上高が485,739千円（前年同期比4.0%減）、セコムウィン事業の売上高が58,970千円（前年同期比1.2%増）、コールセンター受託事業の売上高が504,516千円（前年同期比8.5%増）となりました。

この結果、企業提携事業全体の売上高は、2,409,539千円（前年同期比6.0%増）となり、営業利益は230,291千円（前年同期比33.4%増）となりました。

④ 加盟店事業

加盟店事業におきましては、前年同期に実施したテレビのスポットCM等を継続しなかったことにより、プロモーション業務による加盟店への当第3四半期連結累計期間における当事業の売上高は110,089千円（前年同期比16.0%減）となり、さらに生活救急車全般のプロモーションに関連する広告宣伝費を当セグメントで負担しているため、営業損失は236,878千円（前年同期は営業損失205,549千円）となりました。

なお、加盟店数は493拠点、協力店数は1,222拠点となっております。

⑤ 少額短期保険事業

少額短期保険事業におきましては、賃貸住宅の家財を補償する「新すまいRoom保険」や、自転車の万一の事故に備える「ちゃりぼ」が順調に伸びていることにより、当第3四半期連結累計期間における当事業の売上高は1,552,373千円（前年同期比20.8%増）となりましたが、営業利益は115,478千円（前年同期比4.1%減）となりました。

⑥ 自動車賃貸事業

自動車賃貸事業におきましては、株式会社バイノスが実施する除染事業の作業用車両の賃貸車両数の伸長により、当第3四半期連結累計期間における当事業の売上高は483,302千円（前年同期比133.3%増）となり、営業利益は80,525千円（前年同期比152.3%増）となりました。

⑦ 環境メンテナンス事業

前連結会計年度から新たに開始いたしました環境メンテナンス事業におきましては、連結子会社株式会社バイノスが新種の微細藻類「バイノス」の特性を活かした排水・廃液及び廃棄物処理、除染作業等の事業を展開しております。

当第3四半期連結累計期間におきましては、主として福島県内地方自治体等が実施する除染の受託により、売上高は1,199,198千円（前年同期比137.4%増）となりましたが、更なる「バイノス」の研究開発のための研究者の採用、東京オリンピックの開催決定に伴う建設・土木関連の件数高騰の影響や、冬季における想定を上回る降雪の影響もあり、営業損失は438,950千円（前年同期は営業損失186,153千円）となりました。

⑧ その他の事業

その他の事業におきましては、売上高は300,792千円（前年同期比4.8%減）となり、主として医療機器事業における広告宣伝費の圧縮により、営業利益は34,017千円（前年同期は営業損失13,232千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、前連結会計年度末と比べ2,055,249千円増加し、11,267,091千円となりました。これらは主に、受取手形及び売掛金が699,147千円減少したものの、現金及び預金が2,704,784千円増加したことによるものです。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、前連結会計年度末と比べ697,519千円増加し、3,141,790千円となりました。これらは主に、投資有価証券が342,454千円、ネット110番株式会社を子会社化したことにより、のれんが159,746千円増加したことによるものです。

(繰延資産)

当第3四半期連結会計期間末における繰延資産の残高は、前連結会計年度末と比べ52,916千円減少し、58,108千円となりました。これは主に、少額短期保険事業に係る保険業法第113条繰延資産が52,877千円減少したことによるものです。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、前連結会計年度末と比べ1,002,601千円減少し、5,224,637千円となりました。これは主に、短期借入金が1,160,000千円減少したことによるものです。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、前連結会計年度末と比べ159,571千円増加し、3,731,121千円となりました。これは主に、長期借入金が123,354千円減少したものの、長期前受収益が324,915千円増加したことによるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末と比べ3,542,881千円増加し、5,511,231千円となりました。これは主に、自己株式の処分により、自己株式が899,952千円減少したものの、資本剰余金が2,791,476千円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想に関しましては、平成26年6月25日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1. 簡便な会計処理

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められる場合には、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

②固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

2. 特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,393,095	9,097,880
受取手形及び売掛金	2,011,474	1,312,327
有価証券	100,000	100,000
商品及び製品	31,397	25,101
仕掛品	11,296	14,781
貯蔵品	13,303	11,118
その他	657,791	712,819
貸倒引当金	△6,516	△6,938
流動資産合計	9,211,842	11,267,091
固定資産		
有形固定資産	641,878	739,883
無形固定資産		
のれん	15,792	175,539
その他	148,158	131,329
無形固定資産合計	163,951	306,869
投資その他の資産		
投資有価証券	950,520	1,292,974
その他	767,668	884,598
貸倒引当金	△79,747	△82,536
投資その他の資産合計	1,638,441	2,095,037
固定資産合計	2,444,270	3,141,790
繰延資産	111,025	58,108
資産合計	11,767,138	14,466,990
負債の部		
流動負債		
買掛金	504,997	572,510
短期借入金	2,060,000	900,000
1年内返済予定の長期借入金	1,758,165	1,769,996
未払法人税等	186,711	270,387
賞与引当金	15,746	4,803
会員引当金	186,695	222,463
受注損失引当金	277,075	4,246
支払備金	20,083	20,094
責任準備金	253,549	302,866
その他	964,216	1,157,268
流動負債合計	6,227,239	5,224,637
固定負債		
長期借入金	2,315,338	2,191,984
役員退職慰労引当金	27,000	47,250
長期前受収益	1,123,056	1,447,972
その他	106,154	43,915
固定負債合計	3,571,549	3,731,121
負債合計	9,798,789	8,955,759

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	762,902	774,855
資本剰余金	848,714	3,640,191
利益剰余金	1,034,058	929,488
自己株式	△952,767	△52,814
株主資本合計	1,692,908	5,291,720
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	141,226	59,615
その他の包括利益累計額合計	141,226	59,615
少数株主持分	134,214	159,896
純資産合計	1,968,349	5,511,231
負債純資産合計	11,767,138	14,466,990

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年6月30日)
売上高	7,251,391	8,940,069
売上原価	4,291,328	5,875,043
売上総利益	2,960,063	3,065,026
販売費及び一般管理費	2,500,596	2,779,158
営業利益	459,466	285,867
営業外収益		
受取利息	21,985	3,645
受取配当金	1,190	5,345
補助金収入	32,822	32,697
投資有価証券売却益	—	38,379
持分法による投資利益	2,463	—
その他	11,162	6,883
営業外収益合計	69,624	86,952
営業外費用		
支払利息	20,985	19,384
持分法による投資損失	—	162,273
保険業法第113条繰延資産償却費	61,915	52,877
その他	1,627	7,082
営業外費用合計	84,528	241,617
経常利益	444,562	131,202
特別利益		
投資有価証券売却益	63,410	287,742
その他	—	65,544
特別利益合計	63,410	353,286
特別損失		
投資有価証券評価損	122,782	22,098
過年度決算訂正関連費用	—	93,916
その他	—	1,367
特別損失合計	122,782	117,382
税金等調整前四半期純利益	385,190	367,106
法人税等	209,426	390,719
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	175,764	△23,613
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△57,356	23,412
四半期純利益又は四半期純損失(△)	233,120	△47,025

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	175,764	△23,613
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	26,867	△81,693
持分法適用会社に対する持分相当額	91	82
その他の包括利益合計	26,959	△81,611
四半期包括利益	202,724	△105,224
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	260,080	△128,637
少数株主に係る四半期包括利益	△57,356	23,412

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は平成25年11月18日開催の取締役会決議に基づき、平成25年12月3日を払込期日とする公募による自己株式の処分及び平成25年12月19日を払込期日とするオーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当による自己株式の処分を行い、資本剰余金が2,779,525千円増加し、自己株式が902,466千円減少しております。

これらの結果、当第3四半期連結会計期間末において資本剰余金は3,640,191千円、自己株式は52,814千円となっております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年10月1日至平成25年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント							
	コールセンター	会 員	企業提携	加 盟 店	少額短期保	自 動 車 貸	環 境メンテナ	計
売上高								
外部顧客への売上高	459,075	2,387,708	2,272,492	94,626	1,136,611	79,549	505,225	6,935,290
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	9,791	380	36,369	148,667	127,584	—	322,793
計	459,075	2,397,500	2,272,872	130,996	1,285,278	207,134	505,225	7,258,084
セグメント利益又は損失(△)	99,206	648,215	172,619	△205,549	120,362	31,915	△186,153	680,616

	そ の 他 (注)1	合 計	調 整 額 (注)2	四半期連結損益計算書 上 額 (注)3
売上高				
外部顧客への売上高	316,101	7,251,391	—	7,251,391
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	322,793	△322,793	—
計	316,101	7,574,185	△322,793	7,251,391
セグメント利益又は損失(△)	△13,232	667,383	△207,916	459,466

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、医療機器事業を含んでおります。
 2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△207,916千円には、セグメント間取引消去△22,351千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△185,564千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
 3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成25年10月1日至平成26年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント							
	コーポレートセンター	会 員	企業提携	加 盟 店	少 額 短 期 保 険	自 動 車 貸 賃	環 境 メ ン テ ナ ン ス	計
売上高								
外部顧客への売上高	481,940	3,026,097	2,408,530	79,813	1,420,117	23,579	1,199,198	8,639,277
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	12,211	1,008	30,276	132,256	459,722	—	635,475
計	481,940	3,038,309	2,409,539	110,089	1,552,373	483,302	1,199,198	9,274,753
セグメント利益又は損失(△)	107,450	626,404	230,291	△236,878	115,478	80,525	△438,950	484,321

	そ の 他 (注)1	合 計	調 整 額 (注)2	四 半 期 連 結 損 益 計 算 書 上 額 (注)3
売上高				
外部顧客への売上高	300,792	8,940,069	—	8,940,069
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	635,475	△635,475	—
計	300,792	9,575,545	△635,475	8,940,069
セグメント利益又は損失(△)	34,017	518,339	△232,471	285,867

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、医療機器事業を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△232,471千円には、セグメント間取引消去△21,814千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△210,657千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。